

「山梨大学 学生支援フォーラム」報告

2019年1月20日

山梨工業会東京支部 異業種交流会/電電山梨工業会共同で、山梨大学工学部、生命環境学部の協力を得て「学生支援フォーラム」を開催いたしました。

1. 日時：2018年12月14日(金)
意見交換会 16:30～18:15／懇親会 18:30～20:00
2. 場所：山梨大学 情報メディア館 5階多目的ホール/大学会館ラウンジ(西キャンパス)
3. 参加者：
＜山梨大学 学生＞ フォーラム：26名、懇親会：18名
工学部：10名(3年:4名、4年:3名、修士1年:3名) ・環境生命学部：16名
＜山梨工業会東京支部＞ 7名
＜電電山梨工業会メンバー＞ 3名
4. 実施目的
 - 1、先輩から、仕事で「自分のやってきたこと」や「やりたいこと」についての話を聞くことで、自分が社会に出て「はたらく」ことを通して「やりたいこと」を考えてもらう。
 - 2、先輩の経験を通し新たな視点を持ち、目の前に迫ってきた社会に出て「はたらく」ことについて考える場を目指した。
5. 実施概要
 - 1、山梨工業会メンバー5名が異なる「はたらく」をキーワードにしたテーマでプレゼンを実施。
 - 2、5つのテーマ毎にグループに分かれ、プレゼンの補足説明。学生さんからは率直な疑問を自由に質問。
 - 3、グループワークの途中に1回グループチェンジの機会を設けることで、2つのテーマで実施。

＜5つのテーマ＞

- (A) 日本の枠を超えて、**グローバル**に「はたらく」
- (B) 技術を求め、**開発**という分野で「はたらく」
- (C) 会社にながら、**会社にこだわらず**に「はたらく」
- (D) **キャリア形成**をするために会社で「はたらく」
- (E) **プライベート**も充実させながら「はたらく」



6. 学生さんへの事前課題
当日、考えをより深めてもらうために事前課題を配布。

「自分のやりたいこと」、ならびに5つのテーマから選んだ「2テーマでの質問」を考えてきてもらった。

7. 「グループワーク」での様子

感想では、社会で働いている人に直接話を聞ける事はとても参考になると評価を多数いただいた。



<各グループワークの感想>

1、(A)グローバル,(B)開発

テーマが明確なチームでは話題を絞って話が活発に出来た。

2、(C) 会社にこだわらず

テーマが伝わり難く集まった学生が少なかったが、少人数を活かし、先輩から積極的に話を聞き出してあげられた。

3、(D)キャリア形成(E)プライベート

何を話せばいいか？何を聞けばいいか？お互いに探り探りだった印象。

4、(D)キャリア形成

キャリア形成がテーマだが、社会人と学生の専攻が異なるためか、学生が興味ある話題の提供出来なかった反省が上がっていた。

5、(E)プライベート

社会に出て、自分の時間を取れるものか？といった福利厚生への質問が多くやりたいことを考えるテーマが薄れ、労働環境の話が多くなった。

<学生の感想(抜粋)>

1、悩みを口に出すことによって解決の方向性が決まったり、実際に同じ悩みを持っていた人の話をきけて非常に良かった。

2、企業に入ってから働き方、働くことを具体的にイメージ出来た。就活に対する不安が少し解消され、やる気があふれた。

3、先輩方との距離が近く、とてもリアルな話を聞くことが出来た。

4、生命系、バイオ系、農業系など生命環境学部の学生が身近に感じられる職種の先輩に来て欲しい。

8. 懇親会

合同会議メンバーと合流し、全体で開催。

懇親会では砕けた話もでき、活発な会話が出来た。

学生さんと直接コンタクト出来る関係を築けたメンバーもいた。



9. 全体を通しての課題

- 1、生命環境学部からの参加が多かったが希望職種の社会人がおらず、要望に応えられないことがあった。
- 2、「はたらく」ことで「やりたいこと」を考える場を目指したが、一部グループでは労働条件の不安への質問が多く、「やりたいこと」に関する対話が出来なかった。
- 3、グループワークでは、学生さんとの議論や質問の口火が切りにくい傾向があるので、話しやすい雰囲気づくりや発言を促すことに工夫をした方がよい。

10. 今後に向けて（19年度課題）

- 1、2018年度の実行は大学への時期提案が随時だったため、2回目が12月開催と遅くなったが、2019年度は大学に当初から予定してもらえよう、開催時期調整を行う。
- 2、生命環境学部の希望職種の社会人も参加する会となるよう検討する。
- 3、会の開催は評価されており継続して実施するが、内容については学生さんからの「事前課題」から得た声や、参加した感想を反映し改善を行う。
- 4、山梨工業会への誘い

以上